



白門板橋

2010. 9. 15 VOL.34

編集
発行

中央大学学員会 東京板橋区支部
〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL03-3550-3300



■定時総会によせて 皆んなで母校創立一二五周年を祝おう

支部長 石塚 輝雄

* * *

今年の支部定時総会にご出席の皆様、大変ご苦勞様でございました。平素は、支部運営に深いご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

定時総会は、第一部から第三部までに構成されており、冒頭に記念講演の後援をいただいた坂本健板橋区長に、ご多忙の中ご挨拶をいただき、ありがとうございます。

第一部では、母校創立一二五周年を記念して、渡部芳紀先生から「太宰治と宮沢賢治」についての講演をいただき、有意義で大変楽しく拝聴させていただきました。

第二部では、定時総会の議事を滞りなく議決いただき、ありがとうございます。役員改選の件では、基本的に全役員の方々に留任していただき、続投する支部長を助けていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願い致します。

総会終結後、本年春の叙勲で副支部長の川口 正氏が、「旭日雙光章」を受賞されましたので、皆さんの総意で記念品をお贈り致しました。大変おめでたいことです。

今年度の事業計画の一つに、母校での創立一二五周年記念事業があります。会員の皆さんとこの事業に参加したいと思っております。

また重点事業の会員増強にも力を入れ、業務を遂行する所存でおります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(本文は、総会当日の支部長挨拶を要約したものです。)

支部のニュース

定時総会に六十七名が集う

第二十二回支部定時総会は、去る六月二十六日(土)午後六時から区立文化会館大会議室を会場に開催されました。

当日は、大学及び学員会本部等から六名の来賓と六十一名の会員が出席して、池田幹事長の司会で定刻七時に開会し、冒頭に物故された五名の会員に黙祷を捧げてから、石塚支部長が議長席につき、議事に入りました。



第一号議案・平成二十一年度事業報告以下、全五議案が原案通り承認可決されました。(詳細は、四〜六頁を参照ください。)

総会の終結後は恒例の懇親会に移り、来賓及び講演をいただいた渡部芳紀教授夫妻も同席され、和気あいあいの立食パーティで楽しいひとときを過ごしました。そして、例年通り校歌、応援歌に惜別の歌の三セットを合唱して中締めとなりました。(池田記)

渡部教授が記念講演

総会に先立ち、母校創立一二五周年を記念して、母校大学院から渡部芳紀教授を招いて、講演会が開催されました。

演題は、「太宰治と宮沢賢治」



近現代文学が専門の教授は、太宰治と宮沢賢治の作品と人柄に触れた他、ほぼ同じ時代に文壇で活躍した中大にゆかりのある芹沢光治良、中原中にも話が及ぶなど限られた時間一杯に、熱のこもった講演をいただきました。(平山記)

屋形船を仕立て優雅に観桜

支部恒例の観桜会は、区外プロツクの担当で五年ぶりに隅田川に屋形船を仕立て、四月三日(土)に行われました。

施工中の東京スカイツリーを背景に兩岸の桜も満開。美味しい料理とお酒に酔いながら、初参加の会員二名を含めた総勢二十八名は、江戸情緒を満喫しました。(三宅記)



TOPICS ■ 「生きててよかった」

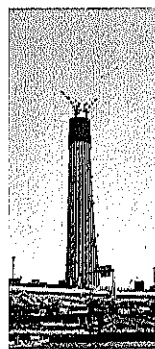
☆☆☆

今年の支部観桜会は、四月三日(土)に行われ、五年ぶり隅田川に屋形船を仕立てて二十八名の有志が参加した。

前日強風が吹いて心配されたが、この日は快晴に恵まれ隅田川の川面は、さざ波をたたえ、隅田公園の桜は満開。

料理の箸を休めると、船窓から「スカイツリー」の優雅な姿が眺望できた。

支部観桜会の歴史の中で、今年の観桜会ほど総ての条件に恵



まれた年はない。

ご夫婦で仲睦まじく参加された水野公一先輩が、「生きててよかった」と、参加者全員に礼状を差し出された意図が理解できる気がした。

それにしても、わずか二カ月後に夭折してしまった。世は無常! 合掌。

母校のニュース

蓮池薫氏が講演

去る五月十五日(土)中央大
 学学生会の定時協議員会・定時
 学員総会が、駿河台記念館で開
 催され、第一号議案から第十二
 号議案まで異議なく、承認可決
 されました。

総会に先立って、拉致被害者
 の蓮池薫氏(一九七六年四月法
 入学・二〇〇八年三月法卒)(現
 新潟産業大学専任講師・翻訳家)
 の講演会があり、「生きる希望
 ・・半生を振り返って・・」と
 いう演題で、一時間余にわたる
 熱い講演で満員の聴衆を釘付け
 にし、大きな拍手を浴びました。
 貴重な青春時代を閉ざされた
 異国の地で、生きる希望を失わ



ずし夫妻で戦った講演に感動しま
 した。

なお、学員会の定時協議員会に
 は、当支部から次の三名が出席し
 ました。(記載順不同)

- 平山惟美 (副支部長)
- 池田亘利 (幹事長)
- 大野正浩 (事務局長)

(大野記)

■硬式野球部
 春季リーグは、三位に泣く

プロが注目する沢村投手を擁す
 る母校の野球部だったが、主軸の
 鮫島捕手と第2エース山崎の負
 傷などで、亜大に惜敗したのが響
 き勝率で三位に泣きました。

なお秋季リーグ戦は、さきの世
 界大会をケガのため辞退した沢村
 投手が復帰できるか、他の選手の
 頑張りに期待したい。



■箱根駅伝の展望

来年の箱根駅伝は、柏原君を
 中心として、選手層の厚さを誇
 る東洋大が本命視されています。
 他の大学では、ここ数年有力
 な新人の獲得に成功した東海大
 日体大、早大や留学生を擁する
 山梨学院大が上位をねらうもの
 と予想されます。しかし、走っ
 てみないと分からないのが駅伝
 で、中大として大石君を中心に進
 境著しい二年生・塩谷君や野脇
 君など、身上のチームワークを
 発揮すれば、三位以内の入賞も
 期待できます。

■あつぱれ!

飯塚翔太君が金メダル
 去る七月に、カナダで行われ
 た世界ジュニア陸上選手権大会
 の二百メートルで、期待の一年
 生・飯塚翔太君が優勝。世界大
 会男子初となる金メダルを獲得
 しました。

また五月の関東インカレにお
 いても、同君の活躍で四百メー
 トルリレーで38秒57の日本学
 生新記録を樹立しています。

(栗原記)

■講演会余話

●支部の定時総会に先
 立って開催された講演
 で、講師を務めた渡部
 芳紀教授は、本誌第二
 十六号の白門作家シリ
 ーズに登場しているの
 をご記憶でしょうか?

●作品は、国文学「解
 釈と鑑賞」特集・芹沢
 光治良の世界―に、健
 筆をふるっています。

東大を卒業してから、
 高校の教壇に立ってい
 ただけに、風貌と相ま
 って講演は、真面目そ
 のもの。デカダンス派
 に属した太宰文学を語
 るには、どこか違和感
 がありました。●奥様
 の野乃宮紀子様も国文
 学者でご夫婦そろって
 芹沢文学に詳しい。ど
 こへ行くにもご一緒で、
 正におしどり夫婦で知
 られています。(日記)

定時総会決議事項の報告

開催日/平成二二年六月二六日 会場/板橋区立文化会館

第二二回・定時総会の決議事項を次のとおりご報告申し上げます。

■第一号議案 平成二二年度・事業報告

大野事務局長から次のとおり報告があり、異議なく承認されました。

・四月三日(金) ゴルフ同好会 (第一回) 川越グリーンクロス 20名

・四月四日(土) 観桜会・上練馬公園 懇親会・笹寿司(赤塚ブロック担当) 38名

・四月九日(木) パソコン同好会 ハイライフプラザいたばし十回開催 各15名

・四月二二日(土) 囲碁同好会 毎月第四土曜定例会を開催

・五月八日(金) カラオケ同好会 レストランサンイチ 23名

・五月二二日(金) 幹事会 グリーンホール 504会議室 30名

・五月二五日(月) 囲碁同好会 練馬支部と親善交流会 向山庭園 11名

・六月二十日(土) 定時総会 区立文化会館 大会議室 54名

・七月十日(金) 会報「白門板橋」編集会議 喫茶 ルノアール 9名

・八月二二日(金) 常任幹事及びブロック長会議 グリーンホール 各10名

・八月二八日(金) 会報「白門板橋」校正 喫茶 ルノアール 7名

・九月二五日(金) 会報「白門板橋」發送業務 文化シヤッター研修所 10名

・九月二五日(金) 常任幹事「区民まつり」会議 グリ

・一〇月九日(金) カラオケ同好会 レストランサンイチ 17名

・一〇月一三日(月) ゴルフ同好会 (第二回) 高根カントリー 22名

・一〇月一七日(土)〜一八日(日) 会員増強を目的として第38回区民まつり初参加 24名

・一〇月二五日(日) ホームカミングデー 多摩キャンパス 39名

・一一月二三日(金)〜二四日(土) 秋の旅 浜名湖(館山寺温泉) 23名

・一二月二二日(土) 忘年会 トミコシ会館(王華)(高島平ブロック担当) 43名

・一月二二日(火) 会報「白門板橋」編集会議 喫茶 ルノアール 6名

・一月二六日(金) 新年会 区立文化会館大会議室 58名

・二月二六日(金) 会報「白門板橋」校正 喫茶 ルノアール 8名

・二月二七日(土) パソコン

秋の旅

浜名湖遠望

撮影 佐藤道則



同好会総会 信金中金市ヶ谷会館 10名

・三月一七日(水) 会報「白門板橋」發送業務 文化シヤッター研修所 10名

・三月二六日(金) 常任幹事会 グリーンホール 503会議室 26名 (以上)

■第二号議案

平成二二年度・収支決算報告

徳永臨時会計から左表のとおり、収支決算の報告があり、その後、中路監事により監査報告がなされ、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

■第三号議案

平成二二年度・事業計画(案)

大野事務局長から、次のとおり説明があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

一、定時総会及び懇親会の開催

日時 六月二六日(土)
会場 区立文化会館

二、親睦会の開催

観覧会 四月三日(土)
(屋形船にて実施済み)

旅行会 秋に予定

忘年会 年末に予定

新年会 一三年一月予定

三、他支部との交流

都区内支部連絡会等

四、中央大学創立125周年記念

事業祝賀会に参加

五、会員増強運動

今年度も継続して会員増強に努める。区民まつりに積極的に参加。

六、会費納入率アップの推進

七、同好会活動の促進

*囲碁同好会
(毎月第四土曜日開催)

*ゴルフ同好会
(四月・一〇月に開催)

*カラオケ同好会
(五月・一〇月に開催)

*パソコン同好会
(四月より会場決定次第開催)

八、広報活動

*会報「白門板橋」発行
(年一回三月・九月)

*中大学員時報への寄稿

*ホームページ随時画面更新

■第四号議案

平成二二年度・収支予算(案)

徳永臨時会計から左表の説明があり、その後、石塚議長により場内に諮られ、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

表2号決算

平成二二年度 収支決算報告書
日平成22年4月1日 至平成22年3月31日
【収入の部】

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 一般会費, 役員会費, 寄附金, etc.

表3号決算

平成二二年度 事業計画案
日平成22年4月1日 至平成22年3月31日
【支出の部】

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 雑費, 役員会費, 寄附金, etc.

表4号決算

平成二二年度 収支予算案
日平成22年3月31日
【収入の部】

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 一般会費, 役員会費, 寄附金, etc.

表5号決算

平成二二年度 収支予算案
日平成22年4月1日 至平成22年3月31日
【支出の部】

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 雑費, 役員会費, 寄附金, etc.

表6号決算

平成二二年度 収支予算案
日平成22年4月1日 至平成22年3月31日
【収入の部】

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 一般会費, 役員会費, 寄附金, etc.

■第六号議案
役員改選の件

*
石塚支部長再任
される



本総会終結のときをも
つて、全員任期満了とな
るため、役員選考委員会
を代表して、池田幹事長
から石塚支部長の統投並
びに欠員の常任幹事三名
を候補者に選考した旨の
説明があり、左記の候補
者が全員原案通り、承認
可決されました。

*
(敬称略・同列卒年順)

■新役員

- ▽顧問 小日向孝介
- ▽同 小野田 元
- ▽相談役 関 正夫

▽相談役	栗原泰房	▽常任幹事	宮村 徹	▽幹事	西元文武
▽同	小野沢隆一	▽同	☆小島基之	▽同	浅香善亮
▽同	巨勢典子	▽同	大森 守	▽同	佐藤啓司
▽同	牧 吉雄	▽同	垣内 茂	▽同	中山 修
▽同	栗山秀男	▽同	三田喜一	▽同	宮崎雄文
▽同	片桐久雄	▽同	吉野昭一	▽同	早坂光平
▽同		▽同	☆伊藤 潤	▽同	藤井 滋
▽監事	関上裕次	▽同	久米英雄	▽同	内田繁夫
▽同	中路義雄	▽同	浅野國昭	▽同	阿部頭一
▽同	栗原三郎	▽同	深山 宏	▽同	末田紀之
▽支部長	石塚輝雄	▽同	岡田利彦	▽同	豊田哲夫
▽副支部長	佐藤道則	▽同	☆前田昌則	▽同	成毛義光
▽同	平山惟美	▽同	小林健一	▽同	荒井賢太郎
▽同	須田幸男	▽同	近藤 正	▽同	川嶋鉦平
▽同	川口 正	▽同	中三川孝幸	▽同	藤野 守
▽同	三宅正代	▽同	鈴木 裕	▽同	露木久剛
▽幹事長	池田亘利	▽同	山本仁二	▽同	若木康夫
▽副幹事長	菅 東一	▽同	小宮 仁	▽同	山城博光
▽同	川崎力男	▽幹事	清水治男	▽同	小林武男
▽事務局長	大野正浩	▽同	川上久雄	▽同	小宮 勇
▽事務次長	徳永勝彦	▽同	佐藤幹夫	▽同	安井賢光
▽同	松島道昌	▽同	本橋 順	▽同	碓谷幸照
▽常任幹事	猪橋進一	▽同	笠原 優	▽同	安倍廣司
▽同	竹田和夫	▽同	蒲生年公	▽同	榎本都行
▽同	佐藤 義	▽同	吉岡聯太郎	▽同	池内稚利
		▽同	大泉喜義	▽同	以上

(☆印は新任です)

■春の叙勲
川口正氏が受賞

* *
当支部の川口正氏(副
支部長)が、春の叙勲で
「旭日雙光章」を受賞さ
れました。

これは、永年にわたる
板橋法人会の会長及び全
国法人連合会の要職を歴
任して、広く法人企業の
納税促進に貢献した事が
受賞につながったもの。



事業を営む傍ら、異業
種の経営者に納税を督促
する割損な役回りは、ま
さに、叙勲に値する名誉
である。

*勲章の種類 勲功を表彰し
て国家が授与する賞牌。日本
では、菊花・旭日・瑞宝・宝
冠などの種類がある。

告 知 板

■秋の支部旅行

猿ヶ京温泉に決まる

△ △
支部恒例の秋の旅行が、左記の通り群馬県「猿ヶ京温泉」に決まりました。

例年通り、貸切バスでグリーンホール横を出発し、一泊二日の旅になります。

なお猿ヶ京では、豆腐懷石料理がウリの猿ヶ京ホテルに宿をとります。

奮って参加してください。

記

日 時／十一月二七〜二八日

旅行費／二九、〇〇〇円

宿泊先／猿ヶ京温泉・猿ヶ京ホテル

テル

申込先／近藤、三宅、川崎及び

鈴木 裕

期 限／十一月十日（水）

*

■詳細は、同封の要項を参照してください。

■忘年会の日程決まる

今年の忘年会の日程などが、左記の通り決まりました。

記

日 時／十二月二日（木）

会 場／板橋区垂根二丁目

割烹・「よし邑」

会 費／七、〇〇〇円

*追ってご案内します。

新年会の日程決まる

来年の新年会の日程などが、左記の通り決まりました

記

日 時／一月二十二日（土）

会 場／区立文化会館大会議室

会 費／七、〇〇〇円

*追ってご案内します。

会費納入のお願い

□□

今年度の支部会費が未納の方は、同封の振込用紙で納入下さるようお願い致します。（会計幹事）

■母校一二五周年

記念式典に参加しよう

今年十一月十三日（土）に挙行される母校創立一二五周年を祝う記念式典が、多摩キャンパスのクレセントホールで開催されます。（事務局記）

■叙勲祝賀会

当支部の川口 正氏（副支部長）が、今年度・春の叙勲で「旭日雙光章」を授与されたことを前六頁で報じましたが、この榮譽を称える祝賀会が、（社）板橋法人会の発起で左記の通り開催される運びとなりました。

記

日 時／十月二日（土）午後六時

会 場／椿山荘「オリオン」

お 断 り

○●○

白門出身「大相撲・星取り表」は、関取が豪風だけになってしまい、残念ながら、しばらくの間休載致しますので、ご了承下さい。（編集部）

訃 報

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
謹んでお悔やみ
申し上げます

（敬称略・記載順不同）

▼若泉 博（48年・理）

平成二二年一月逝去
板橋区板橋

二ノ五二ノ二

趣味／囲碁

▼松村武純（17年・法）

平成二二年四月逝去
板橋区板橋

四ノ五二ノ八

▼水野公一（25年・法）

平成二二年六月逝去
板橋区赤塚

六ノ二五ノ四

支部相談役

元副支部長

（関連記事・トピックス

「生きててよかった」

（事務局）

夏の風物詩二題

日本には、四季折々に詩情を感じさせる豊かな風景がある。ことに夏には、いろいろ祭りなど行事が集中して楽しい。

中でも、花火大会と盆踊りは各地で練り広げられ、年ごとに盛んになっているのは、背後に商業主義が絡んでいるのは否めないものの、老若男女を問わず楽しい行事である。

首都圏だけでも隅田川花火を筆頭に、戸田橋の花火大会や調布の花火は、規模も大きく盛大な催しである。

猛暑の続いた今年の夏は、多くの人が浴衣姿に団扇を携え、夏の夜空を仰いで涼をとった。

家族だけの花火も楽しい。猫の額ほどのせまい庭に、浴室の椅子を持ち出してローソクの火を借りて孫と遊ぶ線香花火も楽しいもので、一服の清涼剤であり風物詩でもある。

盆踊りと言えば、盂蘭盆の時季

に精霊を迎え慰めるために、音頭や歌謡に合わせて踊る原始舞踊に端を発し、仏教渡来後、盆の行事として行われ、室町末期から民衆娯楽として発展してきた。近年では、四国・徳島市周辺の阿波踊りが全国に広まり、街興しに一役買っている。

都内では、杉並区・高円寺の阿波踊りが有名で、八月二十八・二十九日に大会が開かれ、盛況を極めた。

三味線・笛・鉦・太鼓の囃子に合わせた六十連余りが踊り、踊れない私は、見る阿呆に徹したが、これもまた夏の夜の風物詩——。

(文・写真とも 平山惟美)



新入会員のご紹介

どうぞよろしくお願いたします。



▽大久保隆輔(おおくぼりゆうすけ) 昭28年・経卒

趣味／スキー、ゴルフ

▽竹田宣義(たけだのぶよし) 昭38年・法卒

趣味／囲碁、読書、麻雀

▽飯田正己(いいたまさみ) 昭43年・文卒

(事務局)

▽笹沼史明(ささぬまふみあき) 平11年・法卒 板橋区役所

趣味／ドライブ、スキー

▽田中耕男(たなかやすお) 昭46年・商卒

趣味／旅行、カラオケ

▽手塚秀明(てつかひであき) 昭和54年・経卒

▽小林富士夫(こばやしふじお) 昭和49年・商卒

趣味／ゴルフ

☆支部のホームページに

投稿コーナーを開設

この度、当支部ホームページ内の「会員の広場」に、会員皆様の投稿コーナーを、新設いたしました。

第一回目の掲載は、佐藤 義(昭32年卒)『わがふる里とレスリングについて思う』(前編)。

故郷・北海道増毛町の回想を、重厚な文章で書いています。アクセスメソッドは検索欄に、

板橋白門 と入力、クリック

すれば、HPは簡単に開けます。ぜひともご覧ください。

(板橋白門会ホームページ委員会)

■白門作家シリーズ

太田蘭三文学拾い読み



「尾瀬の墓標」

発行所／株式会社角川書店
著者／太田蘭三

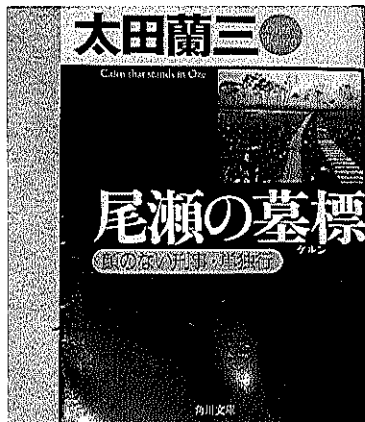
■著者プロフィール

・昭和四年、三重県生まれ。
・中大法学部卒業後、同人誌を経て

・昭和三十一年、時代小説でデビュー
・昭和六十三年、「殺意の三面峽谷」で山岳推理の新境地を拓く。以後、「顔のない刑事」シリーズ、「北多摩署」シリーズなどで読者の支持を得る。

*

立秋が過ぎ、夏の甲子園・全国高校野球大会が終わると、頬をなでる風も心なしか秋の気配を感じるものだが、今年はずいぶんか猛暑が続いている。



こんな熱い夜は、とても純文学書など読んでいられない。ミステリー小説でも気楽に寝転んで読むに限る。ミステリー小説となると白門出身作家では、太田蘭三で決まり。二度目の登場である。

■筆致

(無差別に201頁を開く)

*

滝登志郎、三十歳。K大学経済学部中退。過失致死の容疑で逮捕歴が一回ある。しかし、起訴猶予になっている。前科はない……

と、受話器を通して坂東主任の声が聞こえてくる。「広域暴力団、山北組系石神組の大幹部だ。組長・石神力三、五十八歳の右腕と言われている。ひじょうに頭の切れる男だそうだ。一流大学中退のインテリくずれだからね。石神組の作戦参謀という評判だ。……相手は石神組だよ。大丈夫かね、月さんひとりで？」以下略

*

会話でいうところの歯切れのいい筆致で、犯罪捜査に奔走する職場の雰囲気がよくでている。

本書は、昭和六十年十二月に、祥伝社から文庫で刊行されたものを、平成二十一年六月に角川書店から刊行された。

作品自体は決して新しいものではないが、山岳愛好家を含めた多くの読者のニーズに応える暑気を払う読み物としては、恰好の書である。

昭和四年生まれの著者は、決して若くないが、読後に大きな元気をもらった気がする。

(平山記)

■大相撲通のはなし

●●●

学生出身力士

○○○

平成22年七月場所の幕内力士42人のうち、学生(大学卒)出身力士は、栃煌山を筆頭に十人もいる。さらに外国人は、モンゴル人を中心に二十人もいるので、大相撲界は学生出身と外国人に支えられていることになる。

母校・中大からは、豊園(小結)、玉春日(関脇)、出島(大関)、若孜(幕内)、魁道(十両)、豪風(小結)が関取として活躍したが、現在は尾車部屋の豪風一人が幕内で頑張っている。

七月場所の豪風は、東前頭11枚目で、六勝九敗と負け越し、九月場所での奮起を期待したいところである。

(池田記)

■南町の歴史

今回は「南町」です。南町は板橋区の中で一番南にあります。ただ南町にも歴史があつて、今の地名になるまでには、いろいろな変遷がありました。

以前「中丸」の巻でも申し上げましたが、この地域は江戸期よ

地名の由来…②⑥

「南町」の巻

りずっと中丸村でした。明治十二年の町村合併により、北豊島郡板橋町大字中丸となりました。

中丸の小字名の中に、南がありました。小字名には他に、前北裏などがあり、位置関係からして西光院の前、裏の北の方、そして南と言うことで、名付けられたと



▲写真は西光院本堂

考えられます。昭和七年の東京市域拡張の頃、板橋町三丁目となつたことは、昭和八年三月二十五日に登記されているのを見てもわかります。又、同年十一月二十一日には、耕地整理による地番変更の手続きも、行われました。この地域では、さらに昭和十年に一

部が豊島区長崎に入り、昭和十一年には、字中原が高松に編入されました。そして、昭和二十三年三月一日に、現在の板橋区南町になりました。これらの町名や区割りの変更が続いたということが、この地域の都市化を、物語っていると思われま

地名の由来に、影響を及ぼした

と思われる西光院について、少し調べてみました。山号は医王山薬円寺といい、本尊は阿弥陀如来で、宗派は真言宗豊山派です。開山は

覚慧とされていますが、詳細は不明です。しかし、当寺の過去帳に「法師是空元和二丙辰二月廿」との記事があり、元和二年(西暦一六一六年)以前に創建されていたと考えられます。境内には正徳年間(一七一一〜一七一六)に、松平氏が、妻の眼病平癒祈願のために建立した薬師堂があり「中丸の薬師さん」として江戸時代大変賑わったと言われています。

▼西光院の教え
当院の案内には「教え」として、以下のような事が、記されています。「世の中にはいろいろな宗教や思想がありますが、よく観察してみると、一番底には共通の原点があります。この原点が大日如来という仏さまです。中略、求めるところは、広い視野で物を見ながら深く考え、敬けん(虔)に力強く人生を生き切り、平和な社会を

作ることです。」

いつも生活に追われた日々を過ごしてありますが、少し人生を考えてみました。
(中三川孝幸記)

編集後記



●第92回 全国高校野球は、沖縄・興南高校が神奈川の東海大相模高校を大差で破り、春夏連続して優勝した。猛暑の中を両校熱戦を展開するのをラジオで聞きながらの編集作業には、金子編集長急逝の後を急遽再登板した前編集長だったが、愛用のワープロが故障して大わらわ。

●肩のできないままのリリーフに機器の故障で、猛暑の秋葉原・電気街を彷徨い、一時はどうなるか？と絶対絶命のピンチに陥ったが、奇策が奏功して何とか発刊にこぎ着けることができた。

仲間のバックアップに感謝したい。
(平山記)